

東日本旅客鉄道株式会社殿

杉並区内 J R 駅へのホームドア設置を求める緊急要望

2020年8月11日

日本共産党 東京都議会議員 原田あきら

日本共産党杉並区議団

日本共産党杉並地区委員会

7月26日、阿佐ヶ谷駅を利用していた視覚障害者の男性がホームから転落し、総武線にひかれ亡くなるという、痛ましい人身事故が発生しました。以前より鉄道駅では視覚障害者のホーム踏み外しによる事故が多発しており、通勤や通院などで電車を利用する当事者にとっては命がけとなっています。

今回の阿佐ヶ谷駅で視覚障害者が死亡した転落事故は、ホームドアが設置されていれば確実に防げた事故ではないでしょうか。

昨年9月東京都が示した「鉄道駅バリアフリーに関する優先整備の考え方」では、それまで10万人以上の乗降客駅において制度化されていたホームドア設置助成制度の対象を拡大し、特別支援学校や病院、自治体の庁舎など駅周辺の特性及びホームの狭さなどの駅の特性を考慮し、乗降客10万人未満の駅であっても助成することとしました。J R 東日本のホームドア設置負担は総額の三分の一で済むことになります。

貴社におかれましては、速やかに整備計画を策定し、可及的速やかにホームドアの設置を進めるとともに、ホームドア設置までの期間については、視覚障害者が常にホームの端に誘導される現在の点字ブロックの設置方法を見直し、ホーム中央部に近い位置に誘導用点字ブロックを設置するなど、転落防止のためのあらゆる手段を尽くすべきと考え、以下要望します。

記

1. 早急に区内4駅のホームドア整備計画を策定し、速やかに設置すること。
2. ホーム中央部に誘導用点字ブロックを設置するなど、視覚障害者の転落防止のためにあらゆる手段をとること。
3. 視覚障害者団体などと共に駅施設の危険箇所を視察し、または聞き取りを行い、危険な箇所を改善すること。
4. ホームドアが設置されるまで、転落防止など安全確保のための誘導員等を配置すること。

以上